

第4節 健康福祉課

〔総括概要〕

健康福祉課における事務担当は、福祉担当、介護高齢担当（地域包括支援センターを含む）、健康増進担当、こども担当（地域子育て支援センター及び保育園を含む）で編成されている。

福祉担当では、身体障害者手帳の交付及び障がい者が豊かな社会生活を営むための支援策として、各種の手当の支給及び生産活動の機会を提供して社会参加の促進を図るために、「地域活動支援センター」の支援に努めた。また、福祉に係る全般的窓口として、民生委員児童委員を中心として、高齢化の進展、社会構造の複雑・多様化に対応・配慮して、各種の関係機関等と連携して適切な対応に努めた。

介護高齢担当では、高齢者の生きがい推進として、敬老事業、配食サービス事業、いきいきサロン事業等を実施した。また、高齢者福祉関係として、軽度生活援助員派遣事業、日常生活用具購入費助成等事業、介護手当・紙おむつ購入費助成等の介護予防や生活支援事業を実施した。さらに、介護保険関係として、要介護（要支援）認定申請・介護給付に係る申請の相談や受付等を行い、介護を必要とする方や家族への支援を行った。地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康維持、生活の安定等のため包括的支援事業等を実施した。また、ふれあい相談員が、ひとり暮らしや高齢世帯を定期的に訪問し、安否の確認等を実施した。

健康増進担当では、感染症のまんえん防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種を実施した。高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、特定健康診査及び特定保健指導を実施した。さらに、各種がん検診、骨粗しょう症検診及び歯周疾患検診を実施した。また、女性特有のがん検診推進事業で無料クーポン券を発行し、子宮頸がん検診、乳がん検診の受診勧奨を図った。母子保健事業では、母子健康手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳幼児健康診査、発達障がいの早期支援を目的としてのびのび相談等を実施した。健康づくり事業では、生活習慣病予防の推進のため、栄養や運動等に関する健康相談・健康教育事業を実施した。つが健康づくり21推進事業では、関係団体と連携し重点取組に基づき健康づくりを推進した。

こども担当では、次世代を担う子どもの健やかな育成を応援するため、子ども手当、赤ちゃん誕生祝金等の各種申請受付業務を行った。また、幼稚園就園奨励費補助事業については、幼稚園に就園する園児世帯の経済的負担軽減のため、保育料等の減免措置に係る補助金の交付事務を行った。放課後児童健全育成事業では、下校後に保護者が家庭にいないため、保護指導を十分に受けられない児童に対し、遊びを主とする指導を行った。地域子育て支援センターでは、親同士や保育士との交流から、育児に関する情報交換を行い明るく楽しい子育ての支援に努めた。保育所では、保護者の就労、疾病等の事由により、家庭で保育ができない保護者に代わり保育することにより、その心身の健全な発達・育成を図った。

福祉担当

1 民生委員児童委員関係

民生委員児童委員25人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員2人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1) 相談・指導状況 (単位：件)

地域福祉・在宅福祉	家族関係	住居	保健・医療・健康	仕事	生活費	年金・保険
205	59	19	52	10	68	4
非行・養護・健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数		
93	38	554	1102	44.1		

(2) 調査等状況 (単位：件)

調査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合・行事への参加	友愛訪問・安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
273	50	1,135	1,938	2,452	5,848	233.9

2 地域活動支援センター事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者及び障がい児に、創造的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図るために社会福祉協議会に委託（指定管理）し、実施した。

運営状況

施設名	所在地	開所日数	通所延べ人員
都賀地域活動支援センター	栃木市都賀町家中2357	245日	812人

3 福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。

区分		実施状況(人)
交付者数		167
	うち高齢者(80歳以上)	61
	高齢者(65～79歳)	13
	障がい者	68
	腎臓機能障がい者	25

4 身体障がい者の現況（身体障害者手帳交付状況） (単位：人)

障がい区分	手帳所持者数	平成22年度中交付者数
視覚障がい	31	3
聴覚・平衡障がい	62	6
音声・言語・そしゃく障がい	7	0

肢体不自由障がい	223	17
内 部 障 が い	131	14
複 合 障 が い	21	0
合 計	475	40

5 知的障がい者（児）の現況（療育手帳交付者数）

区 分	障がい児（18歳未満）		障がい者		合 計
	男	女	男	女	
重度（A1・A2）	0	4	22	18	44
中度（ B 1 ）	3	1	11	9	24
軽度（ B 2 ）	4	2	5	3	14
合 計	7	7	38	30	82

6 身体障がい者（児）の補装具等の交付状況

(1) 身体障がい者（児）の補装具交付及び修理 (単位：件)

区 分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義 肢	義 手	0	1	1	0	0	0
	義 足	0	0	0	0	0	0
装 具	下 肢	3	2	5	1	0	1
	靴 型	1	0	1	0	0	0
	体 幹	2	0	2	0	0	0
	上 肢	0	0	0	0	0	0
座 位 保 持 装 置		0	0	0	0	0	0
盲 人 安 全 つ え		0	0	0	0	0	0
義 眼		0	0	0	0	0	0
眼 鏡	矯正眼鏡	0	0	0	0	0	0
	遮光眼鏡	1	0	1	0	0	0
	弱視眼鏡	0	0	0	0	0	0
補 聴 器	高度難聴用ポケット型	0	0	0	0	0	0
	高度難聴用耳掛け型	4	1	5	0	0	0
	重度難聴用ポケット型	0	0	0	0	0	0
	重度難聴用耳掛け型	1	1	2	0	0	0
車いす	普通型	0	3	3	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
電 動 車 い す		0	0	0	0	0	0
起 立 保 持 具		0	0	0	0	0	0
座 位 保 持 い す		0	2	2	0	0	0

歩 行 器	1	0	1	0	0	0
歩 行 補 助 つ え	0	0	0	0	0	0
重度障がい者用意思伝達装置	0	0	0	0	0	0
特 例 補 装 具	0	0	0	0	0	0
合 計	13	10	23	1	0	1

(2) 身体障がい者（児）の日常生活用具の給付 (単位：件)

区 分	身体障がい者	身体障がい児
特 殊 寝 台	0	0
特 殊 マ ッ ト	0	0
特 殊 尿 器	0	0
移 動 用 リ フ ト	0	0
訓 練 い す	0	0
入 浴 補 助 用 具	1	0
体 位 変 換 器	0	0
便 器	0	0
T 字 状 ・ 棒 状 の つ え	0	0
移 動 ・ 移 乗 支 援 用 具	0	0
頭 部 保 護 帽	0	0
特 殊 便 器	0	0
火 災 警 報 器	0	0
自 動 消 火 器	0	0
聴覚障がい者用屋内信号装置	0	0
透 析 液 加 温 器	0	0
ネ ブ ラ イ ザ ー	0	0
電 気 式 た ん 吸 引 器	1	0
点 字 タ イ プ ラ イ タ ー	0	0
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	1	0
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	0	0
視覚障がい者用拡大読書器	0	0
盲 人 用 時 計	0	0
盲 人 用 体 温 計	1	0
盲 人 用 体 重 計	1	0
点 字 デ ィ ス プ レ イ	0	0
聴覚障がい者用通信装置	0	0
聴覚障がい者用情報受信装置	0	0
人 工 喉 頭	2	0
携 帯 用 会 話 補 助 装 置	0	0
情 報 ・ 通 信 支 援 用 具	0	0

点 字 図 書	1	0
ス ト マ 用 装 具	24	0
紙 お む つ	5	1
収 尿 器	1	0
居 宅 生 活 動 作 補 助 用 具	0	0
合 計	38	1

7 身体障がい者の自立支援医療（更生医療）給付決定の状況

種 別	給付決定者数(件)
視 覚 障 が い	0
聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 が い	0
音 声 ・ 言 語 ・ そ し ゃ く 機 能 障 が い	0
免 疫 機 能 障 が い	0
肢 体 不 自 由	0
心 臓 機 能 障 が い	7
腎 臓 機 能 障 が い	30
計	37

8 各種手当の状況

種 別	給付決定者数(件)	
特定疾患者介護手当	14	
重度心身障がい児扶養手当	1	
特別障がい者 等手当	特別障がい者手当	3
	障がい児福祉手当	0
	福祉手当（経過的）	—
特別児童扶養手当	2	

9 障害者相談支援事業

都賀総合支所においては、事業所等に委託をせず、健康福祉課の職員が直接障害者の相談支援を行った。

10 身体障がい者等福祉関係

- ・身体障がい者の自立更生について、1人の相談員が相談指導に当たった。
- ・知的障がい者の自立更生について、1人の相談員が相談指導に当たった。

介護高齢担当

1 高齢者人口・生活態様別統計

(1) 高齢者人口

(毎年4月1日現在)

区分 \ 年度	H20年度	H21年度	H22年度
総人口(人)	13,575	13,463	13,539
65歳以上人口(人)	3,050	3,122	3,146
総人口に対する割合(%)	22.47%	23.19%	23.24%

※平成22年度は外国人を含む人口

(2) 高齢者生活態様

(毎年5月1日現在/単位・世帯)

区分 \ 年度	H20年度	H21年度	H22年度
65歳以上独居世帯	259	275	305
70歳以上夫婦世帯	139	147	149

2 敬老事業

9月1日(基準日)において本市に1年以上お住まいの方を対象に、年度年齢で下記の年齢を迎える高齢者の方に長寿を祝して敬老の日に合わせて敬老祝金や記念品等を贈呈した。

区分	内容	支給人数(人)	備考		
敬老祝金	85歳	1万円	103	本庁一括予算で実施した。 95歳以下の祝金の配付については、民生委員の協力を得た。	
	90歳	2万円			47
	95歳	3万円			13
	100歳	10万円			4
	101歳以上	5万円			2
敬老記念品	77歳	湯呑み	148		
	88歳	湯呑み	71		
賄代	75歳以上の招待者	2,200円	1,637	敬老会を実施した30自治会に支給した。	

・経過措置による敬老祝金の贈呈

平成21年度（旧都賀町）は暦年齢（1/1～12/31）で支給していたため、合併に伴う経過措置として、平成22年1～3月に平成21年度の支給基準に該当していた方に贈呈した。

	区 分	内 容	支給人数(人)	備 考
敬老祝金	77・80歳	3,000円	78	
	85～89歳	5,000円	104	
	90～94歳	10,000円	43	
	95～97歳	15,000円	12	

3 老人クラブ育成指導

都賀町老人クラブ連合会の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、指導助成を行った。

- ・単位老人クラブ数（都賀地域） 24クラブ
- ・都賀町老人クラブ連合会会員数 916人
- ・助成金額 単位老人クラブ助成 本庁一括
都賀町老人クラブ連合会助成 1,038,040円

4 老人スポーツ大会（都賀町老人クラブ連合会主催、事務局社会福祉協議会都賀支所）

個人・団体競技等を行い、会員の健康増進と親睦・交流を図った。

- ・日 時 平成22年10月15日（419人参加）
- ・会 場 都賀市民運動場
- ・内 容 仲間づくり・健康づくりを推進するため、輪投げ大会（218人参加）・グランドゴルフ大会（235人参加）・ペタンク大会（251人参加）を実施した。

5 高齢者配食サービス事業

調理が困難なひとり暮らし高齢者、障がい者等に対し、居宅に訪問し栄養のバランスのとれた昼食弁当（1食300円）を提供することにより、利用者の健康増進を図るとともに安否確認をすることを目的に委託業者による配食サービス事業を合併に伴い今年度より実施した。また、継続した事業として、みやこボランティアによる週1回の配食サービスを実施した。（平成22年度で終了）

(1) 配食委託業者

- ・宅配個数 1,355個
- ・宅配世帯数 16世帯（17人）
- ・宅配業者 (株)金時給食センター
(有)ききょう
(社)スイートホーム

(2) みやこボランティア

- ・宅配個数 1, 162個
- ・宅配世帯数 23世帯(24人)

6 日常生活用具購入費助成等事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の便宜を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。

購入費助成	品目	件数(件)
		福祉車
	小型暖房器具	0
	電磁調理器	0
	火災警報器	0
	自動消火器	0
レンタル料助成	電動小型吸引機	1
	特殊寝台	0
	じょく瘡予防用具	0

7 緊急通報装置設置事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

設置状況

既設置台数	22年度設置台数	22年度撤去台数	計
53台	14台	10台	57台

8 在宅ねたきり老人等介護手当支給事業

要介護認定3・4・5いずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。

上半期		下半期		合計
実人員(人)	延べ支給月数	実人員(人)	延べ支給月数	延べ支給月数
105	508	104	484	992

9 紙おむつ購入費助成事業

要介護認定3・4・5いずれかに認定された方で、日常生活において紙おむつを使用している方に対し、月額3,500円の紙おむつ購入費を助成した。

上半期		下半期		合計
実人員(人)	延べ支給月数	実人員(人)	延べ支給月数	延べ支給月数
100	480	102	470	950

10 介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に、在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

デイサービス・軽度生活援助員派遣事業・在宅高齢者短期入所事業については、合併に伴い今年度より実施した。

事業名	利用者数（人）	延べ回数等
ホームヘルプ事業	1	6 月
寝具等乾燥消毒サービス事業	3	3 回
デイサービス事業	0	0 回
軽度生活援助員派遣事業	5	住まい営繕等 1 5 時間 除草・家事援助 4 2 時間
在宅高齢者短期入所事業	0	0 日

11 都賀老人憩いの家白寿荘

都賀老人憩いの家白寿荘の清掃等管理業務を、栃木市シルバー人材センター（都賀支所）に委託して実施した。

- ・利用者数 1, 7 4 5 人
- ・利用者 主に 6 0 歳以上の高齢者・高齢者の趣味活動グループ
- ・開館日数 2 3 5 日

12 外出支援サービス事業（送迎サービス）

家庭において移送することが困難な寝たきりの方や車椅子使用の方に、医療機関への通院及び入退院に際し、福祉車両での送迎を社会福祉協議会（都賀支所）に委託して実施した。

- ・利用者数 実 数 2 8 人
延べ数 2 2 1 人

13 心配事相談事業

市民の心配事や生活向上に関する相談に応じ、必要な指導助言を行い、広く市民の福祉を図ることを目的として栃木市社会福祉協議会（都賀支所）に委託して実施した。

- ・実施回数 1 1 回（毎月第 4 火曜日）
- ・相談件数 5 件
- ・時 間 午前 9 時 3 0 分～ 1 1 時 3 0 分
- ・会 場 都賀老人憩いの家
- ・内 容 合同相談（心配・困りごと・人権・行政）として実施した。

14 介護保険業務受理状況

介護関係の各種申請受付等を実施した。

内 容	件数(件)
要介護（要支援）認定申請 相談・受付・入力	6 3 7
介護保険被保険者証等再交付申請 受付・発行	1 8
介護給付費過誤申立 受付・入力（過年度分のみ）	4 0
介護保険住所地特例適用届 受付・入力・被保険者証発行	0
転入・転出・転居 資格管理等	3
転送希望届申請 受付・入力	1 8
居宅サービス計画作成依頼届 受付・入力	1 5 0
短期入所の30日を超える連続利用申請 受付・決定発行	7
短期入所の有効期間の半数超過利用申請 受付・決定発行	6
同居家族がいる場合の生活援助の提供申請 受付・決定発行	9
福祉用具購入費支給申請 受付・入力	3 9
住宅改修費支給申請 受付・入力・事前教示	3 5
高額介護サービス費支給申請 受付・入力	2 2
負担限度額認定証の交付申請 受付・決定発行	6 5
障がい者控除対象者認定申請 受付・決定発行	3 5
オムツ使用証明申請 受付・発行	1
介護保険事業者事故報告 受付	0

15 任意事業

(1) 介護給付等適正化事業

介護（予防）給付において、介護サービス利用者に介護（予防）サービスが適正に提供されているか、情報提供として「介護給付費通知書」を郵送した。（本庁一括予算で作成した通知書を、転送・転出・死亡等の確認後に郵送した。）

(2) 家族介護支援事業

ア ホームヘルパー養成研修（2級課程）

ホームヘルパー養成研修を、社会福祉法人スイートホームに補助金を支出して実施した。

・日 時 平成22年5月8日～7月31日

・受講者 13人

イ 生活・介護支援サポーター養成研修

地域で高齢者の生活を支える基盤を整備する目的により、社会福祉法人スイートホームに委託して実施した。

・日 時 平成23年2月1日～2月10日

・受講者 15人

(3) 高齢者地域見守り支援事業（いきいきサロン事業）

ひとり暮らし、日中ひとり暮らし、閉じこもりがちな高齢者を対象に介護予防事業

として、健康チェック・レクリエーション・趣味活動等を社会福祉協議会（都賀支所）に委託して実施した。

- ・実施回数 62回（月5回程度実施）
- ・利用者数 実数 39人
延べ数 1,098人
- ・時間 午前9時30分～午後3時30分
- ・実施施設 あいあいプラザ・都賀保健センターほか

16 高齢者相談支援状況

介護高齢担当を窓口とする高齢者の各種相談に応じた。

（単位：件）

区分	件数	実件数	延べ件数
面接		240	255
電話相談			288
家庭訪問		72	110
連絡調整			108

17 地域包括支援センター事業

(1) 地域包括支援センター設置状況

都賀地域包括支援センター 栃木市都賀町原宿585-2 都賀保健センター内

(2) 介護予防事業

ア 二次予防事業

(ア) 二次予防事業対象者把握

特定健康診査及び後期高齢者健康診査で行われた、65歳以上の高齢者に対する生活機能評価（問診、身体計測、理学的検査、血圧測定、循環器検査及び血液化学検査）の結果に基づき、生活機能が低下しているおそれのある二次予防事業対象者を把握した。

二次予防事業対象者のうち同意を得られた方を対象に介護予防プログラムを7月以前は全員作成し、8月以降は必要性のある者のみ作成し予防事業を行った。

二次予防事業対象者の状況 （単位：人）

	生活機能評価実施数	二次予防事業対象者把握
集団検診	683	242
個別健診	188	46
合計	871	288

介護予防サービス計画書作成状況

	件数
作成者数	18件

(イ) 通所型介護予防事業

二次予防事業対象者に対して、運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上および対象者の身体状況に合わせたプログラムも取り入れた教室を実施し、自立した生活の確立と自己実現の支援を行った。

実施状況

	開催回数(回)	延人数(人)
運動器機能向上	33	317
栄養改善	6	7
口腔機能向上	6	6
複合型(運動・口腔)	6	29
合計	51	359

イ 一次予防事業

(ア) 介護予防普及啓発事業

65歳以上の高齢者を対象に、介護予防に関する知識の普及啓発を行った。

a 健康教育・介護予防講演会

一次予防事業対象者に対して、自治会・民生委員・老人クラブが主催となり健康教育を複合型で実施した。運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の改善、認知症予防講話を行った

また、介護予防講演会では、介護予防の必要性を理解し、自主的に介護予防に取り組む動機付けとし、自立した生きがいのある生活が送れることを目標に実施した。

実施状況

	回数(回)	延人数(人)
運動器機能向上	16	230
栄養改善	16	225
口腔機能向上	16	225
認知症予防	16	277
閉じこもり予防	32	455
健康相談	32	50
介護予防講演会	1	118
合計	129	1,580

b 祝敬老《長生きの秘訣セット》配付

9月の敬老月間に合わせて、70歳以上の高齢者のいる世帯に祝敬老《長生きの秘訣セット》を配付し、活動的な生活が送れるよう啓発した。

- ・配付物 いつまでも元気で長生き「心もはつらつ」、実践！栄養バランス
介護予防カレンダー「足腰しっかり・ハツラツ人生」

(イ) 地域介護予防活動支援事業

地域において介護予防の自発的な活動が広く実施されるよう、地域福祉や介護

予防の知識を習得できる機会を設け、地域活動の人材育成を行った。

実施状況

	回数(回)	延人数(人)
地区組織活動支援	1	27
認知症サポーター養成講座	17	357
合計	18	384

(3) 包括的支援事業

ア 介護予防ケアマネジメント事業

二次予防事業対象者が要支援状態等となることを予防するため、対象者自らの選択に基づき、介護予防事業等が包括的効率的に実施されるよう支援した。また、要支援状態等となった場合においても、可能な限り地域において自立した日常生活ができるよう支援した。

二次予防事業対象者の介護予防サービス計画作成状況

	件数
地域包括支援センターによる作成件数	18件

要支援1・2の介護予防サービス計画作成状況

	件数(件)
地域包括支援センターによる作成件数	53
事業者委託件数	18
合計	71

サービス担当者会議実施状況

	件数
地域包括支援センター主催および委託事業所実施への参加	47件

住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況

	件数
地域包括支援センター作成件数	19件

イ 総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、関係者との連携に努めながら、高齢者の心身状況や生活実態を把握し相談支援を行った。

実施状況

	延件数(件)
面接	163
電話相談	1,475
家庭訪問	557
合計	2,195

ウ 権利擁護事業

地域住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは問題解決できない状況にある高齢者に対し、尊厳ある生活ができるよう権利擁護のための専門的・継続的な支援を行った。

また、高齢福祉担当と地域包括支援センターが連携し、成年後見制度の活用促進、消費者被害の防止、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応等を行った。

実施状況

	件数(件)
権利擁護(成年後見制度等)に関すること	14
高齢者虐待に関すること	7
権利擁護に関するケース会議	4
合計	25

エ 包括的継続的ケアマネジメント支援事業

地域における多職種連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

- ・ケアマネジャー連絡会（年2回）

(4) 任意事業

ア 高齢者見守り支援ふれあい相談員事業

70歳以上の在宅のひとり暮らしおよび高齢者世帯に対し、月2回の家庭訪問を通して、安否の確認、相談等を行った。また、医療・福祉・生活面で高齢者が安全に暮せるような情報を掲載した「えがお便り」を毎月作成し、ふれあい相談員が配付することにより、市からの情報提供とともにコミュニケーションの一助とした。

訪問状況（単位：件）

	対象件数	訪問件数
独居高齢者	253	1,994
高齢者世帯	152	1,164
合計	405	3,158

健康増進担当

1 予防接種事業【数値は本庁健康増進課で一括計上】

小児の感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種、高齢者インフルエンザ予防接種を実施した。

(1) 定期予防接種

各種の定期予防対象者に個人通知を行い接種勧奨した。

ポリオ投与は集団接種で行い、他の予防接種は、予防接種協力医療機関において個

別接種で実施した。

ア 集団接種

- ・ポリオ投与（小児マヒ）
- ・実施回数：4回

実施場所：都賀保健センター

イ 個別接種

BCG 三種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風） 麻しん風しん（混合）
日本脳炎、季節性インフルエンザ

(2) 任意予防接種

- ・子宮頸がん予防接種については、2回目まで都賀保健センターにおいて集団で予防接種した。
- ・小児肺炎球菌ワクチン、インフルエンザ菌b型（ヒブ）ワクチン、小児インフルエンザ予防接種を各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。

2 特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査及び健診結果説明会、特定保健指導を行った。

(1) 特定健康診査、後期高齢者診査及びヤング健診

- ・実施回数 12回
- ・実施場所 都賀保健センター

(2) 健診結果説明会

実施回数	参加者数
10回	115人

(3) 特定保健指導

区分	対象者数(人)	保健指導数(人)	指導率(%)
積極的支援	43	16	37.2
動機付け支援	88	83	94.3
合計	131	99	75.6

3 健康診査事業（健康増進法による健診）

健康増進法に基づき、健康診査、各種がん検診、肝炎ウィルス検査、骨粗しょう症検診及び歯周疾患検診（個別検診）を行った。

- ・集団健診実施回数 12回
- ・集団健診実施会場 都賀保健センター

4 結核検診

結核を早期に発見し、早期治療を図るため、各会場を巡回し胸部レントゲン検査を下都賀郡市医師会病院に委託し行った。

- ・実施会場数 24会場

・受診者数 1, 157人

5 都賀保健センター利用状況（当課事業及び市関係団体の通年使用を除く。）

区分	会議室	和室	調理室	その他	合計
利用者数	303人	265人	290人	77人	935人

6 献血事業

人命を左右する血液の確保のため、献血事業を行った。

実施日数	受付	200ml 献血	400ml 献血	成分献血	献血者数	不適格者
2日	46人	6人	22人	14人	42人	4人

7 健康まつり事業

市民の健康増進のため、まるまるまるごとつがまつりが開催された際に健康相談コーナーを実施した。

- ・実施日 平成22年11月8日（日）
- ・場 所 都賀保健センター、都賀中学校他
- ・実施内容 歯の健康相談（歯周病チェック、ブラッシング指導）脱メタボコーナー
- ・延べ参加者数 692人

8 母子保健事業

(1) 母子健康手帳の交付

妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録しておくためのものとして、妊娠の届出をした者等に対して、窓口において母子健康手帳の交付を行った。その際、妊娠・出産についてのアンケートを行い、妊婦の状態を把握し、必要に応じて面接相談を実施した。

- ・交付数 64人 〈内訳〉妊娠届出 64人
紛失等 4人

(2) 妊婦一般健康診査【数値は本庁健康増進課で一括計上】

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき14回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診券を配布、医療機関に委託して実施）

(3) 妊婦歯科健康診査【数値は本庁健康増進課で一括計上】

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において歯科健康診査及び衛生指導を行った。

(4) 健康教育

ア 両親（母親）教室

初妊婦と夫に対して妊娠、分娩等の知識を提供し、妊婦体操、お産のリハーサル、おふろの入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を栃木会場において実施した。

【栃木・都賀地域で合同開催：栃木会場で実施のため数値は本庁健康増進課で一括

計上】

イ 子育て教室（すくすく教室）

3～4か月児とその母親を対象に、よりよい母子関係の育成を目的として、赤ちゃん体操、離乳食・育児知識の提供や母親同士の交流を図った。

・実施回数 6回 参加者延べ数 51組

ウ 子育てサロン

育児の情報交換や母親の友達づくりをすすめることにより、地域の中で心のゆとりを持って楽しく子育てができるよう支援した。また、保健師等による育児等の相談業務を行った。

・実施回数 12回 参加者延べ数 178組

エ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配布を行った。

・実施回数 11回（9か月児健康診査時）参加者延べ数 81組

(5) 乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減を図った。1歳6か月児や3歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談にも応じた。

区分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診 (%)	要観察 (人)	治療中 (人)	要治療 (人)	要精検 (人)
乳幼児健康診査（4か月児）	11	71	71	100	4		0	1
乳幼児健康診査（9か月児）	11	81	81人	100	9	0	0	1
1歳6か月児健康診査	3	57	56	98.2	19	0	2	2
3歳児健康診査	4	109	106	97.2	53	3	9	9

(6) 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して、助言指導することを目的に助産師による訪問指導を行った。

・指導実数 0件

(7) こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を保健師・助産師・母子保健推進員が訪問し、育児に関する不安や悩みを聴取、相談、子育て支援に関する情報提供、親子の心身の状況の把握を行った。

・訪問数 111件

(8) 乳児先天性股関節脱臼検診【数値は本庁健康増進課で一括計上】

3～4か月児を対象に委託機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を行うため、受診券を交付した。

(9) のびのび相談室

何らかの発達上の問題が疑われた児に対し、心理司による相談指導・育児支援を行った。(月1回)

相談者数	結果内訳				
	今回のみ	健診・訪問等でフォロー	再受診	乳幼児発達相談勧奨	医療機関紹介
21人	6人	4人	8人	3人	0人

(10) 2歳児歯科健診及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健診及び歯科衛生士によりブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児上の保健相談、管理栄養士による栄養指導を行った。

実施回数	対象児数	受診数(受診率)
4回	88人	79人(89.8%)

(11) 5歳児発達相談

3歳児健診までに発見されにくい軽度発達障がい等について診断の有無に関わらず支援を行うとともに、構音障がいや肥満等への支援を目的に、就学前の年中児を対象に、市内幼稚園・保育園及び保健福祉センターにおいて発達相談を実施した。

対象児数	相談児数	受診率
64人	63人	98.4%

結果内訳					
異常なし	今回のみ指導	経過観察	2次健診・医療機関紹介	相談事業・療育機関紹介	フォロー継続中
41人	6人	5人	1人	9人	1人

(12) 健診事後教室(ちゃいちゃいクラブ・ぺんぎん教室)

幼児健診等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、栃木会場にて集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。

【栃木・都賀地域で合同開催：栃木会場で実施のため数値は本庁健康増進課で一括計上】

(13) 乳幼児発達相談(二次健診)

乳幼児健康診査等で成長発達の遅れが認められた幼児に対し、栃木会場において、医師による診察や相談、専門職による相談等を行い、心身障がいの早期発見・早期療育につなげた。

【栃木・都賀地域で合同開催：栃木会場で実施のため数値は本庁健康増進課で一括計上】

(14) 思春期保健

ア 思春期保健授業協力

生徒の自尊感情や自己決定能力を高めるため、中学校と連携し、性（生）教育の授業に協力した。

対 象	実施回数	参加人数
中 学 校	1 校 (1 回)	101 人 保護者 75 人

イ 夏休みふれあい体験学習

小学生が赤ちゃんと触れあうことにより、生命の尊さを学び、自分は尊い存在であることを確認し、将来の父性・母性を育む支援を行った。

・参加人数 13 人

(15) 母子保健推進員活動

母子保健推進員を委嘱し、母子保健の向上のため乳幼児等の家庭訪問や健診の場で相談活動を行った。(推進員数 26 人)

活動内容	乳幼児関係	その他	計
件 数	402 件	39 件	441 件

(16) フッ素塗布事業

歯の衛生週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図り、口腔衛生思想を高めるため、下都賀医師会と1市5町で共催して小学1年生と年長児に対してフッ素塗布及び歯科医師による歯の健康相談を行った。

・フッ素塗布者数 117 人 (小学生 66 人 年長児 51 人)

(17) 親子クッキング教室

年中～年長児の親子に対し、一緒に料理をすることを通して、食への興味・関心を育む等の食育を行った。

・実施回数 1 回

・参加人数 36 人

(18) キッズ生活習慣病予防教室

都賀地区内の保育園の幼児・保護者に対し、健康の基礎をつくる時期にある子どもの頃からのメタボリックシンドローム対策のため、食育を推進した。

・実施回数 1 回

・参加人数 92 人

9 健康増進法等に基づく保健事業

(1) 健康教育

市民の健康づくりを推進するため各種の健康教育を行った。

教 室 名	実施回数 (回)	参加者数 (人)	内 容
健康づくりセミナー	3	36	運動指導士による筋力アップストレッチ 管理栄養士による講話及びバイキング実習
減る脂－教室	2	51	医師・管理栄養士による講話、調理実習

からだスッキリ 運動教室	16	347	運動指導士による運動講話及び実践 (12回コース)
-----------------	----	-----	------------------------------

(2) 健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

実施回数	延べ相談数	内 容
7回	22人	保健師・管理栄養士による個別相談

(3) 病態別栄養指導

医療機関と連携し、より具体的な栄養指導を行った。

実施回数	延べ相談者数	内 容
3回	4人	管理栄養士による個別相談 (指導内訳 糖尿病 4人)

10 自殺予防対策事業

自殺者が増加している深刻な現状があることから、地域の自殺の現状を理解すること及び自殺に対する正しい知識の普及啓発を図った。

普及啓発用リーフレットを作成し、窓口及び各種事業時において配布した。

11 つが健康づくり21推進事業

健康づくりを総合的に進めるため、健康チャレンジ7つの里（食の里・歯の健康の里・健康診査の里・運動の里・いやしの里・たばこの里・アルコールの里）の健康チャレンジ実践目標に基づき、事業等を取り組んだ。

主な取り組み

- ・ 広報とちぎ等を活用して健康情報や取り組みの紹介
- ・ 都賀保健センター内のつが健康づくり21コーナーの充実整備
- ・ 各種健診・教室等において食に関する知識の普及啓発
- ・ 運動の必要性の理解を深めるために運動教室の充実開催
- ・ 都賀地区歯科医院と協力し、健診等における歯科指導の充実
- ・ 妊産婦や乳幼児がいる家庭への受動喫煙の害等の啓発

12 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

- ・ 保健師訪問指導（延べ人数） 75人
- ・ 時間世帯数 43世帯
- ・ 内訳

{	・ 精神保健	12人	・ 妊産婦	17人	・ 幼児	16人
	・ 生活習慣病	11人	・ 低体重児	1人	・ 乳児	18人

こども担当

1 放課後児童健全育成事業

家庭外就労等で保護者が留守のため、下校後に保護指導を十分に受けることができない児童を対象に、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として、都賀地域3か所の小学校区内において実施した。

放課後児童会入会者数

(単位:人)

児童会名	1 学年			2 学年			3 学年以上			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
げんきっこ(合戦場小)	5	9	14	6	6	12	15	12	27	26	27	53
さくらんぼ(家中小)	1	5	6	1	2	3	11	5	16	13	12	25
キッズ(赤津小)	1	1	2	3	4	7	6	7	13	10	12	22
計	7	15	22	10	12	22	32	24	56	49	51	100

2 幼稚園就園奨励費補助金交付事業

私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者を対象とした保育料の減免措置に伴う補助金の交付事務を行った

(1) 国庫補助事業交付額

- ・ 交付対象人数 293人
- ・ 交付金額 28,171,400円

(2) 県補助事業交付額

- ・ 交付対象人数 5人
- ・ 交付金額 594,000円

(3) 市単独補助事業幼稚園第三子以降支援特別補助金交付額

- ・ 交付対象人数 26人
- ・ 交付金額 3,725,000円

(4) 市単独補助事業幼稚園奨励費国庫非該当世帯特別補助金交付額

- ・ 交付対象人数 30人
- ・ 交付金額 180,000円

3 地域子育て支援センターつが

(1) 利用者数推移

(単位:人)

年齢 年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合計
20年度	159	107	25	6		1		275	573
21年度	111	82	12	15				201	421
22年度	10	86	25	59				140	320

(2) 活動状況

ア 定例遊び

- ・実施日時 毎週木曜日（すくすくタイム）午前 10 時 30 分～11 時 30 分
- ・実施内容 集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、紙芝居、絵本読み聞かせ、リズム体操、折り紙、親子工作、体操遊び、ゲーム等毎回テーマを決めて実施。
- ・実施回数 計 6 回
- ・述べ参加者 77 人

イ 特別活動

(単位：人)

No	活 動 名	参加人数
1	親子エアロビクス	23
2	布製簡単リース作り	28
3	人形劇の集い	27
4	体によい子どもごはんって？・凧作り	20
5	クリスマス交流会	19
6	鬼のお面作り	16
7	わらべうたあそび	2
8	ひな人形製作	12
合計	8回	147

ウ 子育て相談

(単位：件)

相 談 内 容		相談 件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ他	1	1	0
排泄に関すること	おむつはずし、便秘他	0	0	0
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き眠りが浅い他	0	0	0
健康に関すること	ほふく・歩行身体の発達・健康 他	0	0	0
ことばに関すること	発語が遅い・幼児語 他	0	0	0
対 人 関 係	他の子とのかかわり 他	0	0	0
そ の 他	性格・育児依頼・入園について・病気・親のストレス・家庭環境祖父母との関わり他	5	5	0
合 計		6	6	0

4 子ども手当

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援するという趣旨のもと、子どもを養育する保護者に支給を行った。

種 別	受付件数
子ども手当	330件

5 赤ちゃん誕生祝金事業

赤ちゃんの出産を奨励し、健やかな成長を願い、少子化並びに子育て支援対策に資することを目的に、誕生祝いとして交付した。

事業名	品名	受付件数
赤ちゃん誕生祝金事業	絵本 2冊	86件

6 チャイルドシート購入費助成事業

子どもを乗車中の事故から保護し、健やかな成長を助長することにより、児童福祉の増進を図るため、チャイルドシート購入費を助成した。

事業名	助成額	受付件数
チャイルドシート購入費助成事業	購入費の1/2以内の額 (限度額10,000円)	44件

7 児童扶養手当

父母の離婚や死亡などによって、父または母と生計を同じくしていない児童や父または母が重度の障害の状態にある児童について、心身ともに健やかに育成されることを目的として支給を行った。

種別	受付件数
児童扶養手当	16件

8 保育所

(1) 保育所入所状況

ア 児童定員・異動状況

(単位:人)

区分	保育園名	定員	22年4月1日 入所児童数	途中入所 児童数	退所児童数	23年3月1日 入所児童数
公立	都賀よつば保育園	120	127	9	1	135

イ 階層別児童数

(平成22年3月1日現在・単位:人)

区分	保育園名	1階層	2階層	3階層	4階層	5階層	6階層	7階層	8階層	計
公立	都賀よつば保育園	1	13	28	36	35	23	0	1	137

※階層：所得税・市民税の合計により算定する保育料の区分

ウ 年齢別児童数

(平成23年3月1日現在・単位:人)

区分	保育園名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳以上	計
公立	都賀よつば保育園	6	14	21	30	64	135

(2) 施設運営全般

施設運営上の目標

- ・ 幼児の心身の発達を助長するために、特に安定感のある物的及び人的環境の整備
- ・ 幼児と保育士等職員が相互に関わり合う場合に必要な空間としての環境と設備の有

効利用

- ・保育内容の充実と技術の向上
- ・安全対策と保護者との対応
- ・地域における子育て支援

(3) 保健管理

ア 健康診断の実施状況

区 分	回数(回)	実 施 月	結 果 と 措 置
健康診断	2	5月・10月	結果については、保護者連絡
歯科検診	2	5月・10月	結果については、保護者連絡

イ 検便等の実施状況

区 分	回数(回)	実 施 日	結 果 と 措 置
寄生虫卵	2	5月6日・10月12日	結果については、保護者連絡
検尿検査	2	5月6日・10月12日	要精検児は、保護者連絡

ウ 健康状態の観察及び個別検査の状況

(ア) 観 察

朝、出席受付の際子どもの状態を観察、保護者から家庭での状況を聴取して対応

(イ) 個別検査

保育中の発熱、けがなどを随時確認し、保護者に連絡の上、処置

(ウ) 伝染病の発生と管理

- ・発生件数 なし
- ・流行性疾病の場合は、登園停止として、医師の診断により対応

(4) 児童保育の内容

ア 保育目標

- ・心身ともに健康な子ども
- ・自分で考え行動する子ども
- ・喜んで話したり聞いたりする子ども
- ・人とのかかわりの中で、相手を思いやる子ども
- ・豊かな感性を持つ子ども
- ・地域の中で育つ子ども

イ 保育内容の構成と指導計画

保育目標に基づき年間計画、月案、週案、日案の計画を立てる。

ウ 年間行事実施状況

区 分	社会的行事に合わせた行事	主 な 行 事
4月		入園式
5月	こどもの日	親子遠足
6月	衣替え	苺つみ、世代間交流、防犯訓練

7月	七夕祭り	プール開き
8月		
9月		
10月		運動会、お月見会、園外保育
11月	七五三祝	保育参観、親子給食会、お別れ遠足
12月		生活発表会、クリスマスの集い
1月		
2月	節分	まめまき
3月	ひなまつり	お別れ会、卒園式

※ その他、毎月誕生児の誕生会を催す。

エ 障がい児保育の状況

(ア) 障がい児入所数

保育園名	人数（人）
都賀よつば保育園	2

(イ) 保育方法 混合保育で実施

オ 低年齢児保育（0、1、2歳児）（平成23年3月1日現在・単位：人）

区分	保育園名	0歳児	1歳児	2歳児	計
公立	都賀よつば保育園	6	14	21	41

カ 保護者との連携

- ・保育参観
- ・送迎時の連絡
- ・子育て等相談

(5) 防災対策の状況

- ・設備、遊具等の整備点検
- ・避難訓練
- ・安全のための実施訓練
- ・事故、災害防止及び交通安全訓練等を定期的実施

(6) 給食実施状況

ア 予定献立の作成

献立は、栄養士が原案を作成して、毎月の調理員会議にて決定する。

イ 給食構成

- ・乳児－主食、副食、おやつ（完全給食）
- ・幼児－副食、おやつ

ウ 1日当たり平均栄養摂取量状況

(ア) 3歳未満児（主食及び副食＋おやつ）

（平成22年度平均）

栄養素等 保育園名	カロリー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビ タ ミ ン				食塩相当量 (g)
						A (μ gRE)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)	
都賀よつば保育園	508	21.3	19.1	303	2.0	364	0.28	0.49	27	1.9
栄養給与目標	490	20.0	16.0	300	2.3	130	0.25	0.30	20	

(イ) 3歳以上児（副食＋おやつ）

（平成22年度平均）

栄養素等 保育園名	カロリー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビ タ ミ ン				食塩相当量 (g)
						A (μ gRE)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)	
都賀よつば保育園	468	18.1	19.1	301	2.2	346	0.27	0.60	26.5	1.8
栄養給与目標	400	20.0	19.0	300	2.4	130	0.30	0.35	20	

(7) 特別保育科目設定実施事業

世代間交流事業

高齢者福祉施設等への訪問や、季節的行事・伝承遊びに地域の高齢者等を招待し、世代間のふれあいをを行った。

実施保育園名	実施回数
都賀よつば保育園	1回